

薬師ヶ根遺跡  
遺構写真 写真図版 01～15  
遺物写真 写真図版 16～28



薬師ヶ根遺跡 06区調査区とその南東方向遠景（北西から）。眼前は境川氾濫原の水田地帯であるが、遺跡がある丘陵部先端から刈谷市方向に、現在の集落地がのる段高地が帯状に続いている。手前は尾張国域、向こう側が三河国域である。



薬師ヶ根遺跡 (南から)。音掛小学校の校舎から右側の住宅地一帯が遺跡地である。



遺跡から西方遠景 (東から)。名古屋市方面。



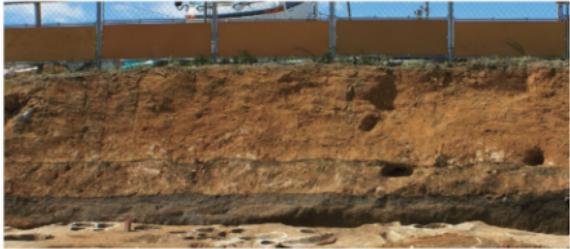
遺跡から北方遠景 (南から)。東郷町・みよし市方面。



遺跡から東方遠景 (西から)。手前の草地が「調査前の 07 区」。



遺跡から南方遠景 (北から)。遺跡は丘陵尾根筋上に立地する。





06 区谷地形 186SX の南斜面完掘状況（北西から）。古代中心の廃棄層。



06 区調査区南壁土層断面（北から）。落ち込みが 186SX に相当。



06 北区谷地形 186SX 錠削状況。全体に搅乱を受けていたが、その下に黒色の廃棄層（包含層）が残存。



【上】06 北区調査区南壁土層断面（西から）。南西側からの緩やかな斜面の埋没谷地形である。地山である黄褐色粘土層上の黒色土層が古代～中世の廃棄層である。基盤層の下部は、灰色と白色の粘土層が交互にあらわされた下に廃棄物の多い暗褐色粘土層がある。

【左】06 北区北壁での錠削状況（北西から）。壁面は【上】写真的続きであるが、北側へ緩やかに上昇していることから、谷の北端に近づいていることがわかる。



06 北区谷地形廃棄層完掘状況（北東から）。



06 北区調査区南壁土層断面（部分）。



06 区遺構全景(北東から)。南半部にピットの集中がみられる。南端に竪穴状遺構や溝、北半部にも溝がある。



06 区南部全景(北から)。ピットは深さ30cm以上のものが多く、柱穴に相当すると考えられる。写真左側の傾斜面は谷地形186SXの北側上端である。発見状態の漆器蓋が多数出土した。



06 区板要部から 06 北区南部の全景（北から）。



06 区北西部全景（南東から）。手前は壊乱。

【上】06 区全景（北西から）。  
【下】06 井戸 029SE 上部の完掘状況。顕著な遺物は南端上端付近で出土した須恵器縄錐のみであった。

06 区井戸 029SE 上部と満 187SD の完掘状況（北から）。187SD は屈曲して南東層 186SX の下へ潜り込んでいく。



06 区井戸 029SE 断ち割り土層断面（北西から）。埋土中からは顕著な遺物が出土しなかった。



06 区井戸 029SE 断ち割り完掘状況。上部は漏斗状で下部は円筒形の素掘りである。底は粘土層下の清水のある砂礫層に達している。



06 区溝 187SD 土層断面（北から）。



06 区溝 187SD ベルト D1 土層断面（北東から）。



06 区ベルト D1 土層断面（北東から）。右端が谷地形 186SX 施渠層に相当。



06 整穴状遺構 184SB - 185SX 土層断面（南から）。



【上】06 整穴状遺構 184SB 完掘・185SX 遺物出土状況（北東から）。

【右】同 185SB 完掘状況（北東から）。





06 区溝 134SD 完掘状況（北東から）。



06 区溝 279SD 完掘状況（東から）。



06 区北半部溝 279SD・299SD 完掘状況（東から）。



06 区溝 279SD 土層断面（東から）。



06 区溝 299SD 完掘状況（東から）。



06 区溝 299SD 調査区北壁土層断面（南から）。



06 区溝 299SD 層曲部溜井状遺構（北から）。



06 区溝 299SD ベルト土層断面（東から）。



06区 119SX 山茶碗出土状況（南から）。



06区 285SK 中世土器出土状況（南から）。



06区 044SK 断ち割り土層断面。



06区 221SK 検出状況。



06区 221SK 断ち割り土層断面。



06区 126SK 断ち割り土層断面。



06区 274SK 検出状況。



06区 274SK 断ち割り土層断面。



06区 207SK 断ち割り土層断面。



06区 植生部段切り状遺構（256SX ほか）完掘状況（北東から）。谷地形 186SX にかかる傾斜面にて竪穴建物を想定して検出した遺構群。



07 区南西隅部全貌（東から）。



07 区北半部谷地形 001SX 完掘状況（南から）。



07 区北半部谷地形 001SX 掘削作業（南西から）。



07 区北半部谷地形 001SX 上層廻削作業。粗粒砂層直上付近で須恵器～山茶碗が大量に出土。



07 区北半部谷地形 001SX 上層須恵器出土状況。



07 区南部検 1面土坑 004SK～007SK 検出状況（北から）。



07 区南部検 1面土坑 004SK～007SK 完掘状況（南から）。



07 区検 1面井戸 002SE 検出状況。凹地状の井戸とその周辺には谷地形 001SX 上層の粘土層が入り込んでいる。



【上・下】07区南部検 1面井戸 002SE 検出時の周囲での遺物出土状況。

埋没した井戸の上を覆う粗粒砂混じりの粘土層堆積は谷地形 001SX 上層に相当し、ここからは須恵器～山茶碗が出土している。



07 区候 1面井戸 002SE 井戸側検出作業（南から）。



07 区候 1面井戸 002SE 井戸側検出状況（南東から）。



07 区候 1面井戸 002SE 井戸側検出状況および溝 003SD 完成状況。

【左】北東から。浅い溝 003SD は 002SE からの排水を目的につくられたものと考えられる。

【下】北西から。井戸 002SE から溝 003SD に向かって敷設された白色円錐が流出している。





07 区井戸 002SE 井戸側全景（北東から、断ち割り調査時）。



07 区 002SE 井戸側下層の自然堆積層（東から）。



07 区南井戸 002SE 井戸側全景（北東横から）。



07 区井戸 002SE 井戸側および土層断面（北から）。



07 区井戸 002SE 井戸側上部の状況（北西から）。4本の桿で内側から支えられているものと考えられる。



【上】07 区 井戸 002SE 井戸側の測量作業（東から）。土層断面とともに井戸側の側面図を作成した。  
【下】井戸 002SE 井戸側内部の掘削作業（東から）。掘削作業は井戸側材を取り上げ、新たに検出された材を測量しながらの慎重な工程となった。



井戸 002SE 井戸側北東隅柱（東から）。



井戸 002SE 井戸側北西隅柱（北から）。



井戸 002SE 井戸側南西隅柱（北東から）。



【上】井戸 002SE 井戸側内部の土層断面。材外側の堆積土が隙間から流れ込み、その上に砂礫の少ない灰色粘土、そして炭化物を含む粘土が堆積している。

【左】井戸側内部出土した材の一部。隙間から流入した砂礫混じり粘土層の直上にあり、実質的井戸の底面に位置。

【右】井戸側の北西面側板。建築部材転用材の南側に小材を補足している。



07 区井戸 002SE 井戸内側完盤状況（北東から）



07 区井戸 002SE 井戸側面側板と隅柱および籠の出土状況



【上】07 区井戸 002SE 挖り方完盤状況（斬ち割り調査時、南東から）。

【右上】002SE 西縁貼付円筒群（北西から）。

【右中】002SE 西縁貼付円筒群の土層断面。裸で覆っているのは砂礫混じりの粘土で谷地形 001SX 上層最下部の状況に相当する。

【右下】002SE 挖り方完盤状況（北東から）。隅柱の補足で立てられた材。

【下】002SE 西縁貼付円筒群。色調や大きさが揃えられている。





【上】07区南半部検2面遺構完掘状況（南から）。奥のシート下が同区北半部で、谷地形001SXの最下部に相当する。

【左】07区南半部検2面遺構完掘状況（井戸002SEを除く、北東から）。丘陵から北側谷地形への落ち帯である。



07区検2面土坑017SK柱根出土状況（西から）。



07区検2面完掘状況（東から）。基盤層地形の傾斜。



07区検2面調査区北壁谷地形001SX上・下層断面（南から）。



07区検2面全景および06区調査終了状況（南東から）。



07区南半部調査区北壁土層断面全景（調査終了時深掘り実施、東から）



07区南半部調査区北壁土層断面（その1、南東から）



07区南半部調査区北壁土層断面（その2、南東から）

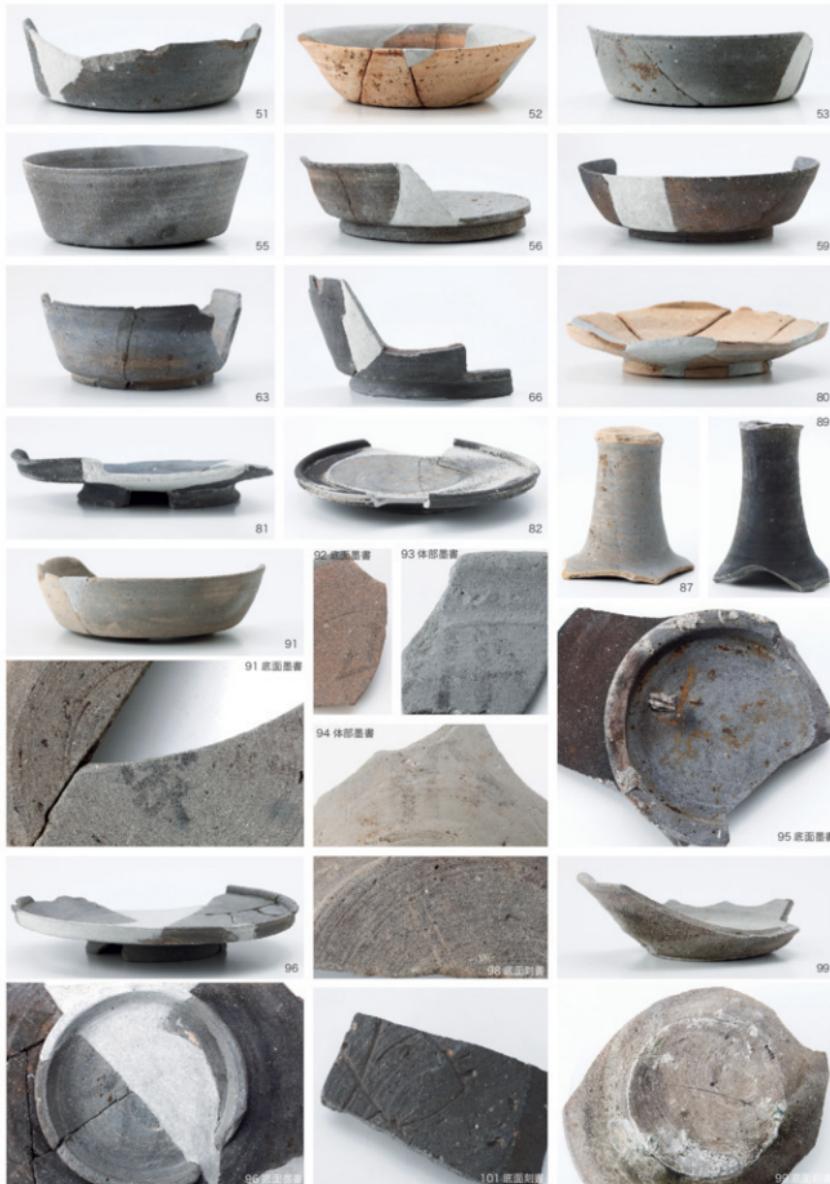


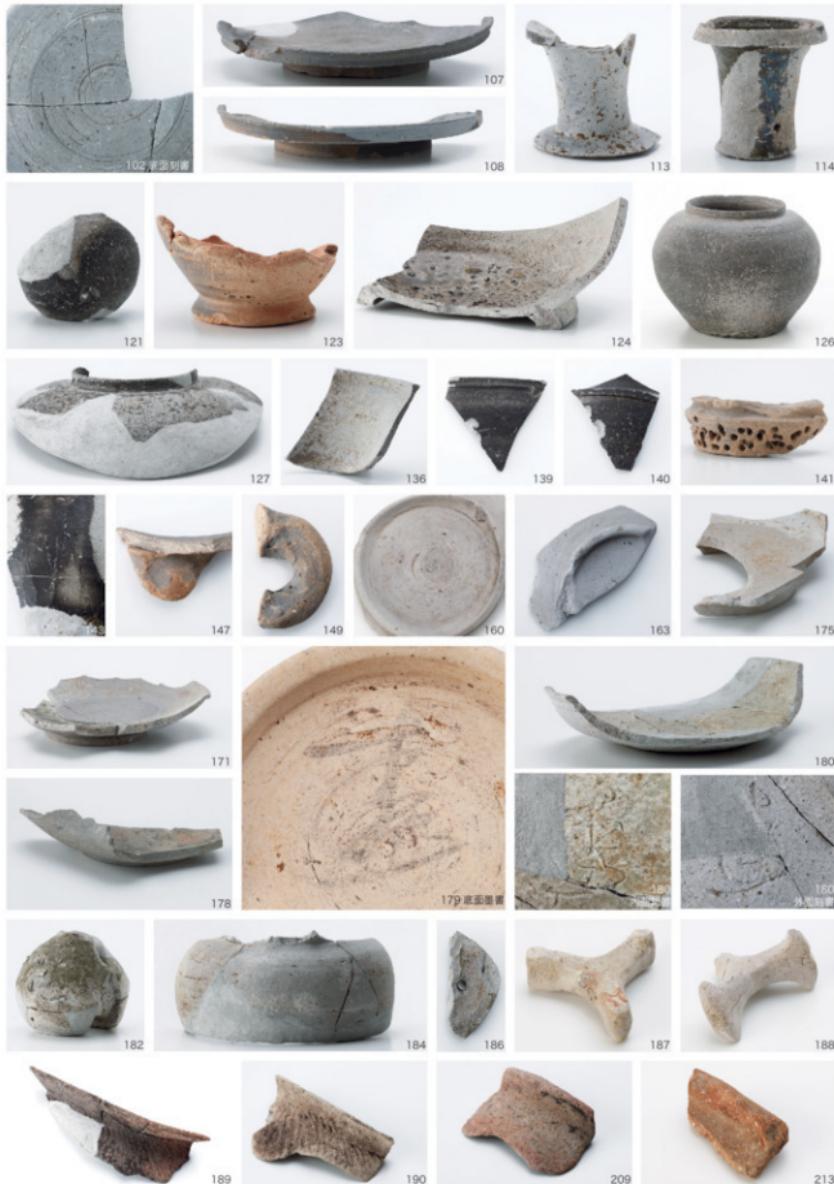
【上】07区北半部調査区北壁土層断面（最下層が基盤層、その上2層が谷地形001SXに相当する）

【右】07区南半部調査区北壁からみた06区方向遠景（南東から、ガードレールにそって06北区の土層断面を記録した）。































愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第197集

## 薬師ヶ根遺跡

2015年3月31日

編集・発行 公益財団法人 愛知県教育・  
スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター

印刷 西濃印刷株式会社

